

# 2019年12月期 決算補足説明資料

2020年2月14日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

## サマリー

---

■ 2019年12月期は前年同期比16.4%減収70.6%営業減益 KRW安により為替差損565百万円を計上し3.6億円経常損失

---

■ 日韓情勢の影響は全事業に及び、ホテル・バス事業は増益となるも、旅行事業・免税事業の減益を吸収できず

---

■ 「Gorilla」によるFIT（個人向け）の強化  
ホテルの新規開業（2019.12札幌、2020以降に金沢・京都）

---

■ 選択と集中  
ハイヤー事業の停止、レンタカー事業の売却、システム投資の継続

---

## 2019年12月期 実績サマリー

## 旅行事業、免税販売店事業の低迷に加え為替評価損（565百万円）が発生

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%、円

	2018/12		前期比				直近予想 ※1
		構成比	2019/12	差額	増減率	構成比	
売上高	7,891	100.0	6,593	△ 1,298	△ 16.4	100.0	6,887
営業利益	918	11.6	270	△ 648	△ 70.6	4.2	332
経常利益	727	9.2	△ 369	△ 1,097	-	△ 5.6	△ 1,460
親会社株主に帰属する 当純利益	558	7.1	△ 765	△ 1,324	-	△ 11.6	△ 965
1株当たり当期純利益	50.89		△ 70.33				△ 88.70
1株当たり配当金	20.00		20.00				20.00
為替レ-ト JPY/100KRW	期末レ-ト 10.02		期末レ-ト 9.46				想定レ-ト 8.45

※2019年8月14日公表時点の予想

## 2019年12月期 損益計算書

## 韓国ウォン安による為替評価損（営業外費用）と事業構造改善費を特別損失に計上

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2018/12		前期比				売上原価
	2018/12	構成比	2019/12	増減	伸率	構成比	
売上高	<b>7,891</b>	100.0	<b>6,593</b>	△ 1,298	△ 16.4	100.0	・バス車両のリサイクルによるランニングコスト低減 360百万円 減
売上原価	<b>2,926</b>	37.1	<b>2,184</b>	△ 742	△ 25.4	33.1	・免税の売上減少に伴う原価減 395百万円 減
売上総利益	<b>4,964</b>	62.9	<b>4,409</b>	△ 555	△ 11.2	66.9	販管費
販管費	<b>4,046</b>	51.3	<b>4,138</b>	92	2.3	62.8	・大森、大通材の販管費 504百万円 増
うち人件費	<b>1,383</b>	17.5	<b>1,407</b>	24	1.7	21.3	・免税店の販売手数料 400百万円 減
営業利益	<b>918</b>	11.6	<b>270</b>	△ 648	△ 70.6	4.1	営業外費用
経常利益	<b>727</b>	9.2	△ <b>369</b>	△ 1,097	-	△ 5.6	KRW安⇒為替評価損 565百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>558</b>	7.1	△ <b>765</b>	△ 1,324	-	△ 11.6	特別損失
							・免税事業の構造改善費用 211百万円
							・免税事業以外事業 減損損失：110百万円

## 2019年12月期 セグメント別

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

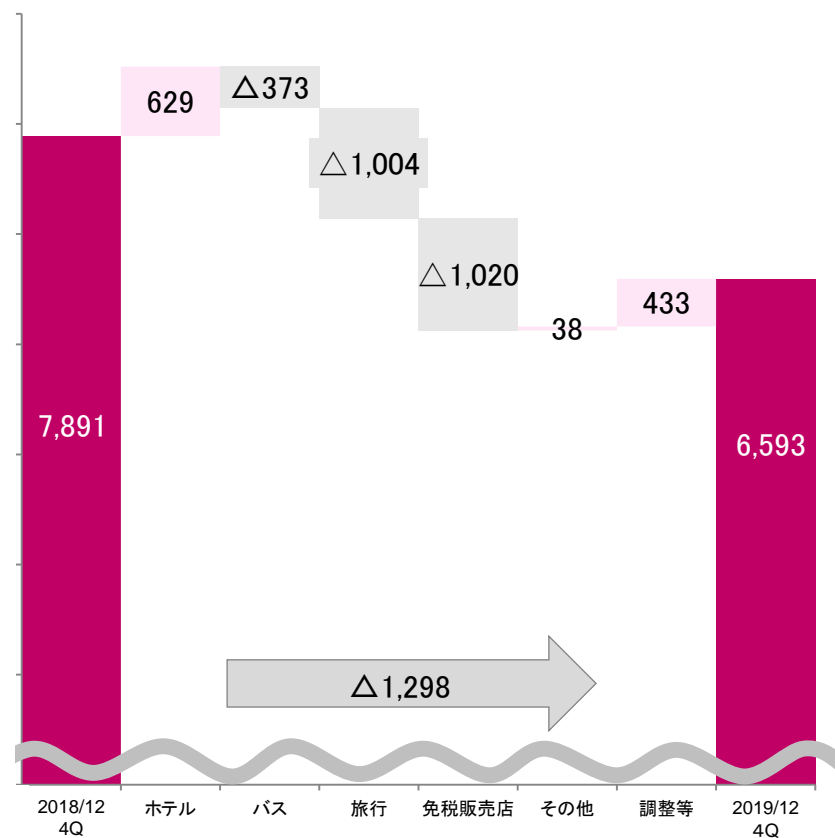
		2018/12	2019/12	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高	2,980	1,976	△ 1,004	△ 33.7	30.0
	セグメント利益	1,036	443	△ 593	△ 57.2	164.1
	利益率	34.8	22.5	△ 12.2	—	—
バス事業	売上高	2,399	2,026	△ 373	△ 15.5	30.7
	セグメント利益	105	139	34	31.9	51.5
	利益率	4.4	6.9	2.5	—	—
免税販売店事業	売上高	2,555	1,535	△ 1,020	△ 39.9	23.3
	セグメント利益	192	△ 22	△ 214	—	△ 8.1
	利益率	7.5	—	—	—	—
ホテル等施設運営事業	売上高	1,283	1,912	629	49.0	29.0
	セグメント利益	64	171	107	2.6倍	63.3
	利益率	5.0	9.0	4.0	—	—
その他	売上高	158	196	38	23.5	3.0
	セグメント利益	△ 72	△ 48	24	—	△ 17.8
	利益率	—	—	—	—	—
小計	売上高	9,377	7,646	△ 1,731	△ 18.5	116.0
	セグメント利益	1,327	683	△ 644	△ 48.5	253.0
	利益率	14.2	8.9	△ 5.2	—	—
調整等	売上高	△ 1,486	△ 1,053	433	△ 29.1	△ 16.0
	セグメント利益	△ 408	△ 412	△ 4	1.0	△ 152.6
	利益率	—	—	—	—	—
合計	売上高	7,891	6,593	△ 1,298	△ 16.4	100.0
	営業利益	918	270	△ 648	△ 70.6	100.0
	利益率	11.6	4.1	△ 7.5	—	—

## 2019年12月期 増減分析

ホテル・バス事業の収益構造が改善するも旅行事業・免税事業の減益が影響

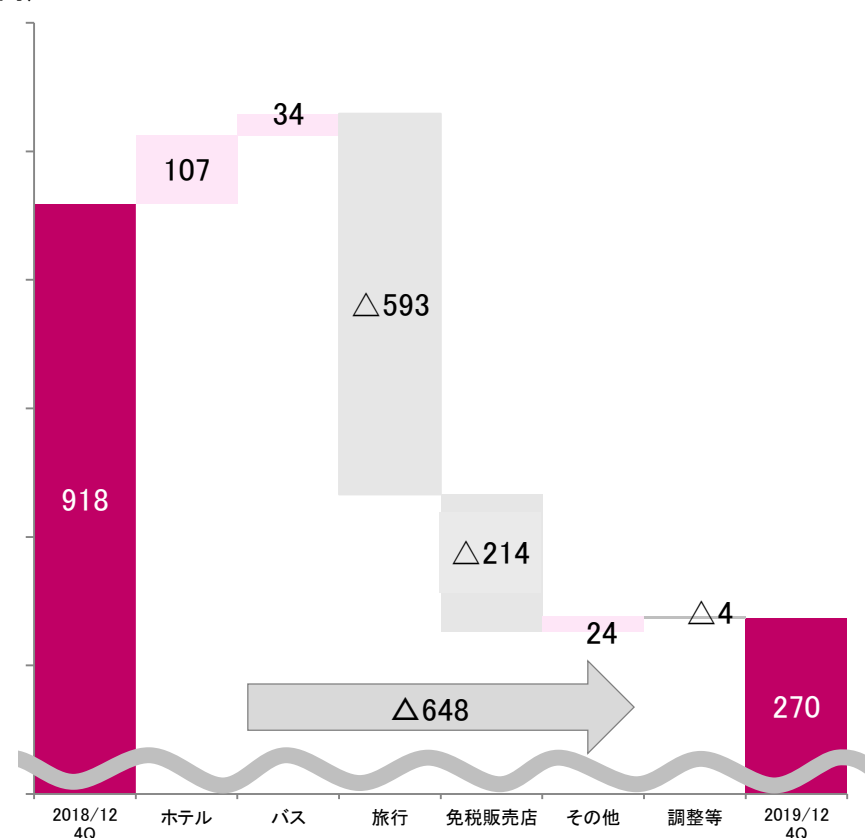
## 売上高

(百万円)



## 営業利益

(百万円)

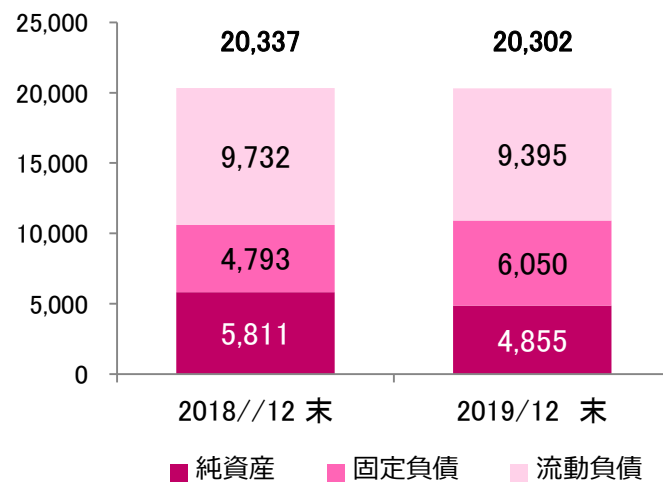
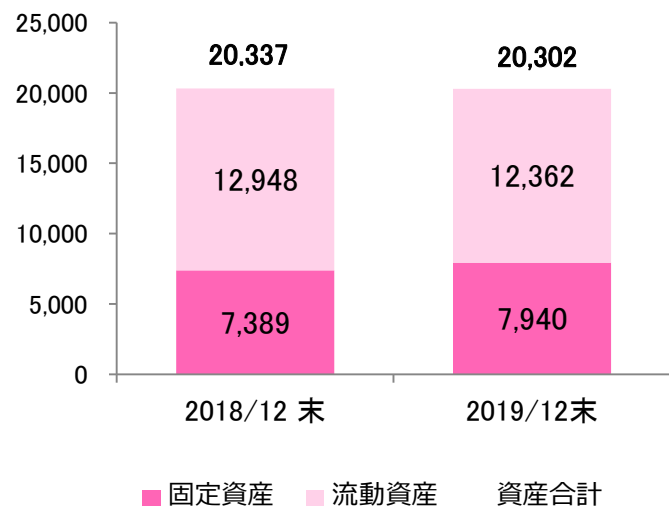


※百万円未満切捨て

## 2019年12月期 貸借対照表

## KRW建のCASHをプール・円建の短期借入を実施 大通ホテルのリース資産・債務計上

単位：百万円（百万円未満切捨て）



流動資産		12,362 (△586)
■ 現金及び預金	10,712 (+475)	営業CF増
■ 売掛金	841 (△509)	
■ 商品	67 (△230)	

固定資産		7,940 (△550)
■ 有形固定資産	6,354 (△145)	車両売却、大通・資産計
■ 投資その他	1,419 (+625)	

流動負債		9,395 (△336)
■ 短期借入金	7,695 (+824)	
■ 未払金	110 (△1,134)	割賦債務減少

固定負債		6,050 (+1,257)
■ リース債務	5,277 (+1,473)	大通 リース債務

純資産		4,855 (△955)
■ 資本金	1,022	
■ 資本剰余金	966	
■ 利益剰余金	3,039 (△983)	配当△217 当期利益△765

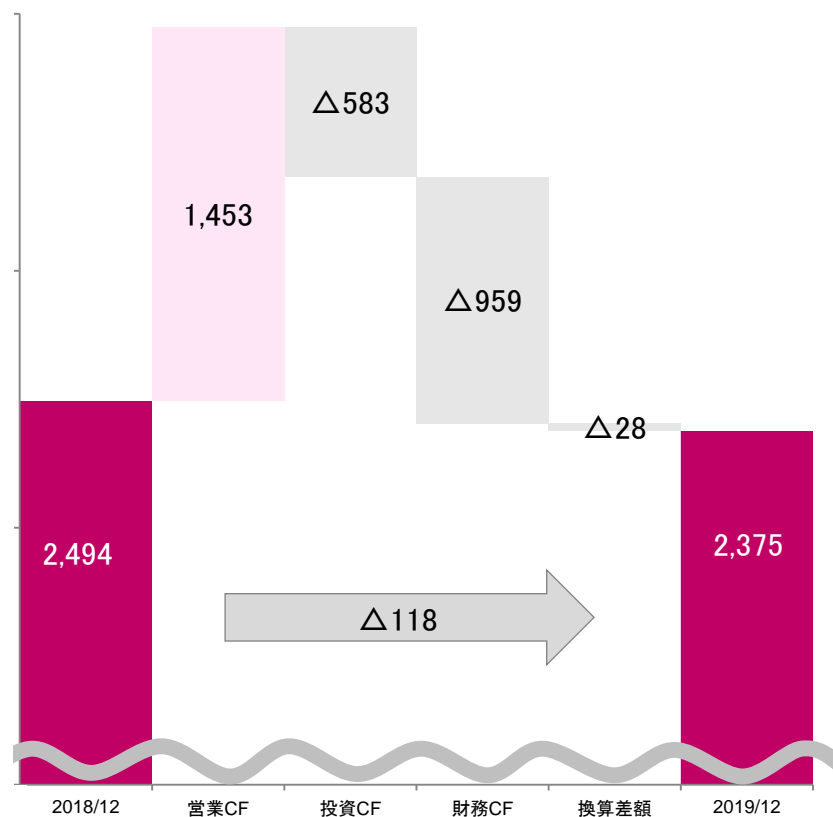
## 2019年12月期 CF計算書

**FCFの増加を維持 定期預金を含む現預金残高 10,712百万円**

## CF計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

(百万円)



## 営業CF 1,453

■ 営業利益	207 + 償却費493=700
■ 営業債権債務	379
■ 消費税還付	312 大森建物に係る消費税

## 投資CF Δ583

■ 車両売却	1,684 リースバック
■ 定期預金	Δ1,142 KRW建
■ 資産取得等	Δ1,141

## 財務CF Δ959

■ 短期借入金	824
■ リース・割賦・長借	Δ1,596 リースバックに伴う割賦返済
■ 配当	Δ217

※百万円未満切捨て



## 2020年12月期 予想について

継続的な日韓関係の停滞および中国を中心としたコロナウィルスにより旅行市場への多大な影響が見込まれることから、業績予想の算定が困難な状況です。

従いまして2020年12月期の連結業績予想及び配当は未定とさせていただきます、影響額の算定が可能となった時点であらためて開示させていただきます。

# ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6402-4411

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>